

Una Passeggiata d'Organo オルガンの散歩 2014

オルガンの散歩参加者募集

小中学生、高校生のみなさんのご参加をお待ちしています。

参加無料

オルガンの散歩 その 38 5月28日午後6:00から

於 ビクトリアチャペル 八王子ホテルニューグランド内 八王子市大和田町 6-1-6 tel 042 645 0015 入場無料

歌あるいはチェンバロ、ヴァイオリン等の楽器で、第1部（18歳以下の部）にご参加下さい。歌やヴァイオリン等の楽器でご参加の方は、独唱／独奏あるいは、お友達のチェンバロ伴奏により、一曲披露してください。チェンバロの方は、普段ピアノで弾いているバッハやスカルラッティの曲をチェンバロで弾いてみましょう。事前練習もできます。

また、できれば歌やヴァイオリン等の楽器でプレコンサートへご参加ください。
なお、プレコンサートでは5声部を持つ器楽曲として

Requiem 1689 (Michel-Richard de Lalande) 歌詞は下記の通りです。
Acis et Galatée 1686 (Jean-Baptist Lully)
のごく一部を取り上げる予定です。

また、楽器で参加される方もラテン語の合唱に参加しましょう。各練習日にラテン語の勉強時間を設けます。練習は4月以降に山野辺宅（八王子）で土曜、日曜等に行います。

Introitus

Requiem aeternam dona eis, Domine,
et lux perpetua luceat eis.
Te decet hymnus, Deus, in Sion,
et tibi reddetur votum in Jerusalem.
Exaudi orationem meam,
ad te omnis caro veniet.
Requiem aeternam dona eis, Domine,
et lux perpetua luceat eis.

2014年も、オルガンの散歩は年3回行われる予定です。5月28日以降に、10月、12月末を予定しています。
なお、今年から、オルガンの散歩のコンサート後半（第2部）では時代を広げて、モダン楽器、声楽等により、バロックから、フランス、イタリア、ロシア、日本における、近現代までの音楽をお届けします

オルガンの散歩について

チャペルコンサート「オルガンの散歩」は八王子ホテルニューグランドにあるチャペルグランドヴィクトリアで行われるコンサートシリーズです。このチャペルはもともと19世紀にイギリスで建てられた教会ですが、区画整理により取り壊しとなり、その後レンガ等をすべて八王子へ移送後、ほぼ元の形に建てられました。床は全面大理石、天井高10m、そしてさらに5mの半円ドーム状になっています。

「オルガンの散歩」はこのヨーロッパの響きの中で、声楽や器楽の素晴らしさを再発見する目的で、2003年に始まりました。弦楽器数人と歌手により始まりましたが、現在では20人程の器楽奏者で grand motet (グラン・モテ) を演奏し、また器楽奏者が grand choeur (合唱) を歌います。一部、petit choeur (独唱や各パート1人による二重唱、三重唱など) は専門家が努めることがあります。

一つのグラン・モテを演奏するための練習はラテン語の勉強から始まります。ラテン語の歌詞はラテン語で書かれたもの以外に、ヘブライ語で書かれた旧約聖書の詩編のギリシャ語訳 (Septuaginta) をラテン語にしたものが多く用いられています。フランスの音楽では器楽が歌の正確ななぞりであり、器楽におけるフレーズはそのままラテン語の文章に対応します。そもそも phrase (仏)、frase (伊) は文章と言う意味です。グラン・モテにおいては様々なラテン語が取り上げられ、その文章にどのような拍節、つまりリズムやメロディーが与えられているかを知ることができます。このようなラテン語の歌をたくさん知る事は器楽演奏を豊かにするものだと思います。器楽曲においても、自由にフレーズを空想するばかりでなく、多くのラテン語の歌を基本知識とした上でフレーズを考えてみましょう。また、器楽だけの部分 (symphonie) を見ると、ある歌がどのように器楽用にアレンジされたか知ることができます。

若い方が、石油化学生成物（ビニール、プラスチック類）で包装された食品をなるべく口にしない様、気を配ります。

192-0914 八王子市片倉町 8 8 8 - 4 4 山野辺暁彦 tel/fax 042-635-3784 Akihiko Yamanobe